

Gov Tech Session in TGA Festival 2020



Gov Tech スタートアップ × 行政セッションを開催

2020年2月25日、急成長を目指す起業家による事業発表イベント「TGA Festival 2020」を開催し、このイベント内で仙台特区の啓発を行いました。

「Gov Tech ～スタートアップと行政はこれからどう関わるか～」をテーマに、スタートアップ企業への支援に力を入れている仙台市・神戸市、さらに各市と連携して事業を行っているスタートアップ企業の代表者

にもお越しいただき、意見を交わしました。

仙台市からは、起業家への支援をテーマにした「仙台特区」の事例や公民連携の窓口「クロス・センダイ・ラボ」を紹介。スタートアップ企業と行政の連携促進や、壁になっていることなどを議論し、起業家など約500名の来場者に向け、国家戦略特区制度の活用やアイデアの募集を呼びかけました。

今後も、特区を活用したスタートアップ企業へのより一層の支援をPRしていきます。

Startup Visa

ワーキングスペースやシェアオフィス スタートアップビザの事業所要件に



INTILAQ 東北イノベーションセンター

enspace

スタートアップビザとは

国家戦略特区のスタートアップビザ（外国人創業活動促進事業）は、日本で創業する外国人に必要な「経営・管理」の在留資格の認定要件が緩和される制度です。

仙台市が提案、制度拡充を実現！

外国人起業家にとって、これまで要件であった事業所の確保のハードルが高いという声を受け、仙台市から国に対し、自治体が認定するワーキングスペースやシェアオフィスも事業所として認めるよう提案。2020年3月に制度が拡充されました。

仙台市では、INTILAQ 東北イノベーションセンターとenspaceを対象事業所として認定しています。

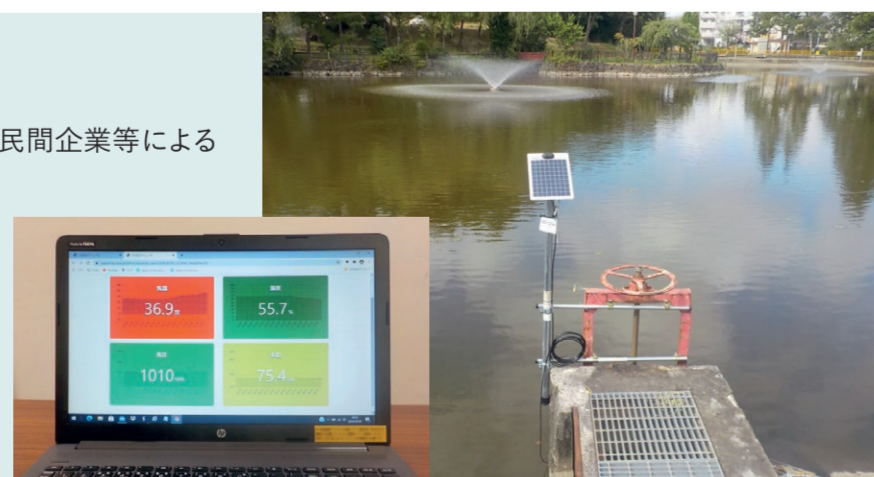


Future-tech

IoTを活用した水位監視システム実証実験

「クロス・センダイ・ラボ」では、近未来技術実証ワンストップセンター事業として、民間企業等によるAIやIoT等の近未来技術の実証実験の実施を支援する取り組みを進めています。

2020年8月からは、(有)デザインオフィス・シィの提案を受け、下水道北管理センター協力のもと、IoTを活用した水位監視システム実証実験を行っています（期間：8月7日～2021年3月（予定））。この実験を通じて、水位監視システムを水路やため池等にも展開し、大雨災害で増加する水路の氾濫などによる洪水を把握するための新たな情報共有ツールとしての可能性を探ります。



問い合わせ



国家戦略特区情報紙

vol. 09

仙台市まちづくり政策局政策企画部プロジェクト推進課

〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
TEL:022-214-8561 FAX:022-214-8037 E-mail:sendai-tokku@city.sendai.jp

国家戦略特区の概要や仙台市の取り組みについては、仙台特区ウェブサイトをご覧ください。

仙台特区ウェブサイト
<https://sendai-tokku.jp/>



令和2年10月発行

仙台特区

vol.09

Social Innovation SENDAI

Topics

- ・オンライン診療・オンライン服薬指導実証実験
- ・ルール温度遠隔管理システム実証実験
- ・内閣府特命担当大臣視察

Sendai Telework Support Desk for the New Normal

ニューノーマル時代の働き方
仙台でテレワーク加速中



仙台市では、ニューノーマル時代にいち早く対応するため、地方都市で初めて、国家戦略特区を活用し「仙台テレワークサポートデスク」を仙台市産業振興事業団内に設置、企業へのテレワーク導入を支援しています。起業支援センター「アシスタ」、特区を活用した雇用労働相談センター「ELCC」との連携はもちろん、東北大学情報知能システム（IIS）研究センターとも連携。製造業などテレワーク導入に技術的課題がある分野でのデジタルトランスフォーメーション（DX）の推進も一体的にサポートします。

仙台テレワークサポートデスクを拠点に、仙台・東北地域での多様な働き方を推進します。

Consulting Service

総合相談窓口

業務内容を確認し、どの業務に対してどのような形でテレワーク導入が可能か、専門家を交えて一緒に検討します。

- ▶ ITサービスの情報提供、対応可能企業のマッチングサポート
- ▶ 補助金等の申請サポート
- ▶ テレワーク導入に係る新規システム開発、技術的課題に対する検討サポート
- ▶ テレワーク等ツールの体験機会の提供
- ▶ テレワーク関連イベントの開催

Webinar

テレワーク実践、効果を紹介

2020年8月、ミニセミナー・座談会をオンライン上で開催しました。

テレワーク導入に向けた課題への対応等についてセミナー形式で解説。テレワークに挑戦した4企業から、導入時の課題への対応や、導入効果等について紹介していただきました。

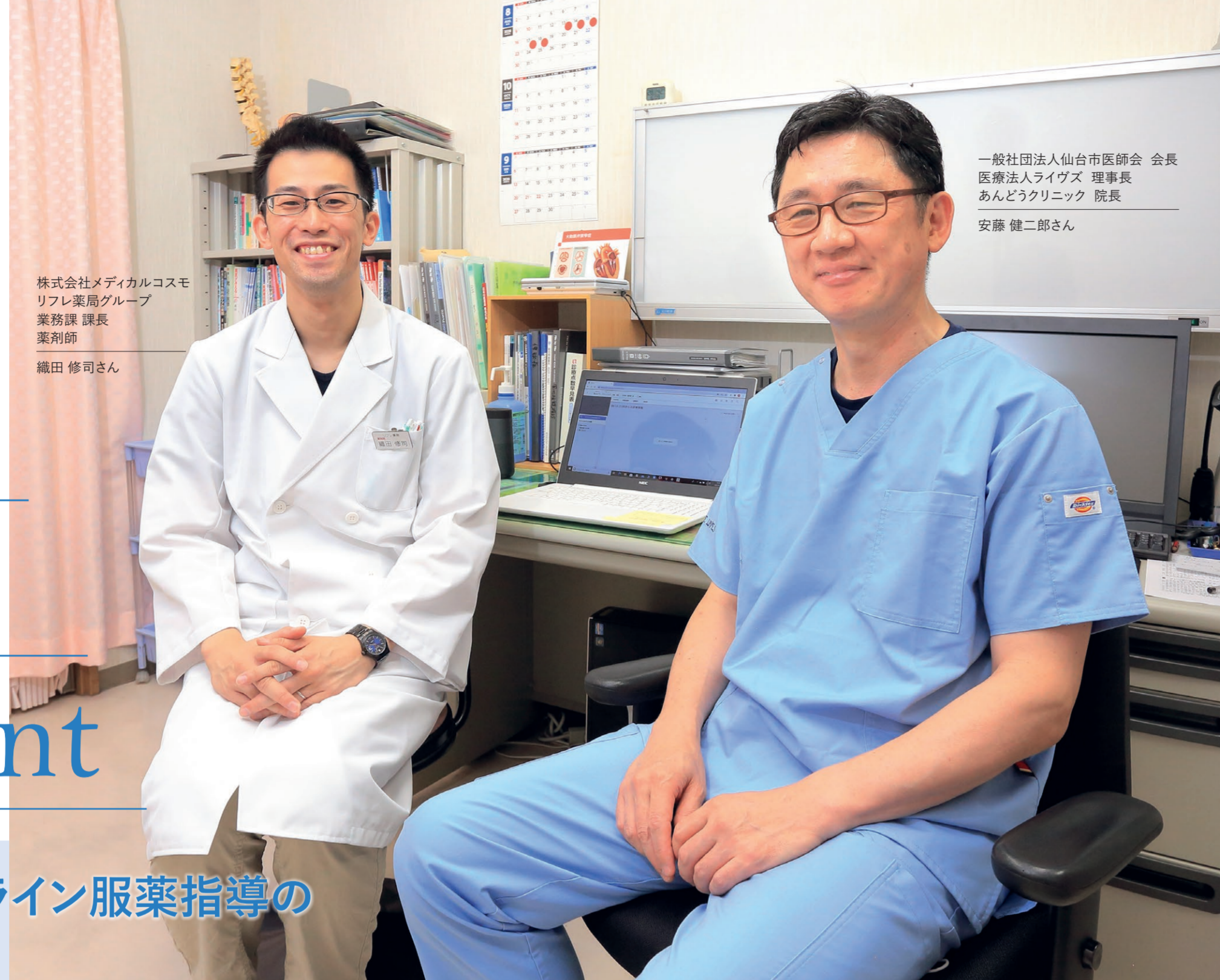


従業員にとっても企業にとってもメリットがあるテレワーク。まずは、一部の従業員から、あるいは一週間のうち数日から、始めてみませんか。ビジネスそのものをオンライン化したいというご相談もお受けしておりますので、ぜひお気軽にお問い合わせください。

(公財) 仙台市産業振興事業団 経営支援部 IT活用推進課
TEL: 022-724-1125 FAX: 022-715-8205
E-mail: itsuishin@siip.city.sendai.jp



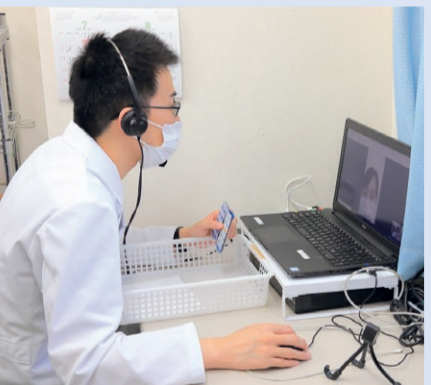
株式会社メディカルコスモ
リフレ薬局グループ
業務課 課長
薬剤師
織田 修司さん



一般社団法人仙台市医師会 会長
医療法人ライヴズ 理事長
あんどクリニック 院長
安藤 健二郎さん

Online Medical Treatment

オンライン診療・オンライン服薬指導の 実証実験が進行中



仙台市が国家戦略特区であることをきっかけに、仙台市、仙台市医師会、仙台市薬剤師会の3者共同により、診療から服薬指導までをオンラインで行う「オンライン医療」の実証実験を実施しています（期間：2020年7月13日～2021年3月31日）。全国でも画期的な取り組みであるこの実証実験のデモンストレーションが、去る8月18日、あんどクリニック（太白区）および同クリニックに隣接するリフレ薬局で公開されました。デモを行った同クリニック院長安藤健二郎さん、およびリフレ薬局薬剤師織田修司さんに、これまでに感じた課題や工夫している点などを伺いました。

視診に加え、聴診の工夫も

オンライン診療は、スマートフォンなどの専用アプリを利用して事前に予約を入れ、患者と医師の間でお互いが映るビデオ画面を見ながら、問診を中心に診療を行います。現在は、新型コロナウイルス感染対策としても注目が高まっています。

「患者さんの通院や待ち時間の負担がなくなりますし、院内感染の防止や医師不足の解消策としても期待されています」と安藤先生。メリットを挙げる一方で、課題も指摘します。「診療の基本はあくまでも対面診療であり、これを超える診療はないと考えています。画面だけで診る診療は得られる情報に限られ、医者側にとっては情報不足、患者さん側も『ビデオ画面だけで人の健康が分かるものだろうか』といった不安を感じている人がいるのも確かです」。何度も診療を

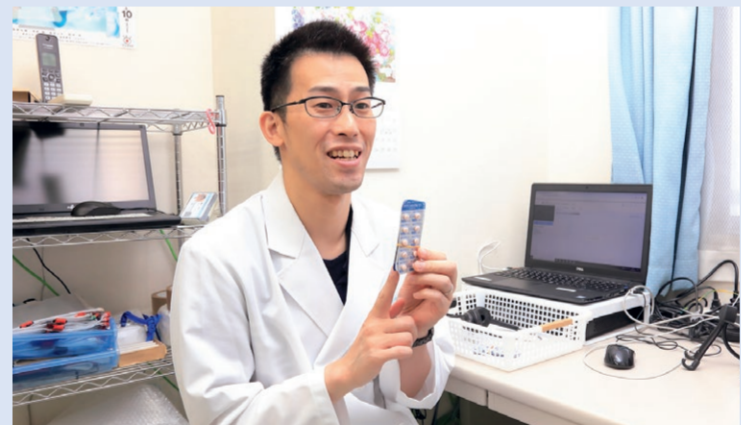
重ね、両者間に信頼関係が築かれていること、さらに病状が安定した経過の方なら、問題なくオンライン診療ができるのではないかと話します。

安藤先生は、1、2年前から聴診の情報をオンラインで得る方法を研究し、心音や呼吸音などの生体音を聞くことができる聴診器を試行錯誤の末に自作。今回の実証実験の中で使用し、オンライン診療の可能性を探っています。現在、東北大学のサポートを受けて製品化を進めています。

「オンライン」の利点を活かして

続いてオンライン服薬指導の様子も公開されました。事前に予約を入れた患者に対して、医療機関から送付された処方箋に従って準備した薬の内容や飲み方、副作用などが説明されました。薬は原則当日中に配達の手配が行われ、薬の到着は薬局が電話で確認することになっています。

「声を張る、はっきり話す、ジェスチャーをまじえるなど、分



かりやすく伝えることを意識しています。オンラインでは1対1なのでプライバシーが守られ、患者さんは相談しやすく、薬剤師も質問しやすくなるのではないかと考えています」と薬剤師の織田さん。オンラインは、話しやすい環境づくりに適していると話します。

実証実験では、アンケートによって課題の洗い出しが行われます。「この実証実験にたずさわったメンバーで、どのよう



なオンライン診療を行うべきかを探り、それを大事に育てていきたい。一步一步着実に、確実にいきたいですね」と安藤先生。始まったばかりの診療システムを、仙台市民の暮らしになじむものにするために、さまざまな工夫が盛り込まれた実証実験が続けられます。

Demonstration Experiment

地下鉄南北線におけるIoTセンサーを活用した レール温度遠隔管理システム実証実験



仙台市では、(株)NTTドコモと連携協定を締結し、ドローンやICTツール等を活用した実証実験を行っています。

2020年8月からは、地下鉄レール温度管理の効率化やレール温度上昇によるレール歪みに起因する脱線事故防止のため、新たにレール温度遠隔管理システムの実証実験を開始しました（期間：8月5日～9月30日、2021年1月4日～2月28日）。



Visitation

内閣府特命担当大臣 仙台市国家戦略特区の取り組みを視察

2020年7月、北村内閣府特命担当大臣(地方創生、規制改革)(当時)が、本市国家戦略特区等の取り組みを視察しました。

国家戦略特区版エンジェル税制を活用した観光交流拠点「アキウ舎」や、未来型医療を築いて震災復興に取り組む「東北大学東北メディカル・メガバンク機構」等を視察後、郡市長と面談を行いました。



アキウ舎を視察



東北メディカル・メガバンク機構を視察



郡市長と面談